

兵庫県内のがん診療連携拠点病院の指定状況等 (R3. 2. 1)

1 がん診療連携拠点病院等

二次医療圏	がんの医療圏	兵庫県内のがん診療連携拠点病院等 (※1)		
		国指定拠点病院(16)	県指定拠点病院(9)	準じる病院 (※2) (21)
神戸	神戸	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸大学医学部附属病院 ・神戸市立医療センター中央市民病院 ・神戸市立西神戸医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・神鋼記念病院 ・神戸医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸中央病院 ・川崎病院 ・神戸市立医療センター西市民病院 ・神戸海星病院 ・神戸労災病院 ・済生会兵庫県病院 ・新須磨病院 ・神戸赤十字病院 ・甲南医療センター
阪神	阪神南	<ul style="list-style-type: none"> ・関西労災病院 ・兵庫医科大学病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立尼崎総合医療センター ・県立西宮病院 ・西宮市立中央病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・明和病院 ・市立芦屋病院
	阪神北	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿中央病院 ・市立伊丹病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市立病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・三田市民病院 ・市立川西病院 ・兵庫中央病院
東播磨	東播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・県立がんセンター ・加古川中央市民病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立加古川医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・明石医療センター ・明石市立市民病院 ・高砂市民病院
北播磨	北播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・市立西脇病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨総合医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立加西病院
播磨 姫路	中播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路赤十字病院 ・姫路医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・製鉄記念広畑病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路中央病院 ・姫路聖マリア病院
	西播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市民病院 		
但馬	但馬	<ul style="list-style-type: none"> ・公立豊岡病院 		<ul style="list-style-type: none"> ・公立八鹿病院
丹波	丹波	<ul style="list-style-type: none"> ・県立丹波医療センター 		
淡路	淡路	<ul style="list-style-type: none"> ・県立淡路医療センター 		

(※1) 診療報酬上認められた病院 (計画策定病院) 計 46 病院

(※2) 兵庫県保健医療計画に記載の「専門的ながん診療の機能を有する医療機関」のうち兵庫県がん診療連携協議会の取組に同意を頂いた医療機関 22 病院

なお、兵庫県保健医療計画における「専門的ながん診療の機能を有する医療機関」については、医療機関からの申し出に基づき随時更新を行っている。

2 がんの先進的医療に特化した治療を提供している医療機関 (兵庫県保健医療計画に記載)

県立粒子線医療センター

県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター

神戸低侵襲がん医療センター

3 がんゲノム医療拠点病院（国指定）

県立がんセンター
神戸大学医学部附属病院
兵庫医科大学病院

4 がんゲノム医療連携病院（がんゲノム医療中核拠点病院、又はがんゲノム医療拠点病院選定）

神戸市立医療センター中央市民病院（京都大学医学部附属病院選定）
関西労災病院（大阪大学医学部附属病院選定）
姫路赤十字病院（岡山大学病院選定）
県立こども病院（神戸大学医学部附属病院選定）

5 小児がん拠点病院（国指定）

県立こども病院

6 近畿ブロック小児がん連携病院（近畿ブロック小児がん医療提供体制協議会指定）

（１）地域の小児がん診療を行う連携病院

神戸大学医学部附属病院
兵庫医科大学病院
県立尼崎総合医療センター

（２）特定のがん種等についての診療を行う連携病院

県立がんセンター
県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター

（３）小児がん患者等の長期の診療体制の強化のための連携病院

神戸市立西神戸医療センター
明石市立市民病院
加古川中央市民病院
北播磨総合医療センター
姫路赤十字病院



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

令和3年度予算案の概要

令和2年12月

厚生労働省健康局
がん・疾病対策課

令和3年度がん対策予算案の概要

令和3年度予算案 365億円 (令和2年度予算額 359億円)
 令和2年度三次補正予算案 33億円

基本的な考え方

平成30年3月に閣議決定した第3期がん対策推進基本計画に基づき、「がん予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」の3つを柱とした施策を実施することで、がん対策の一層の推進を図る。

1. がん予防

140億円(145億円)

- ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 14.9億円
- 改・がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業 0.7億円
- ・がん対策推進企業等連携事業 0.8億円
- ・がん検診従事者研修事業（胃内視鏡検査研修） 0.2億円

※上記のほか、たばこ対策、肝炎対策関係等の経費約123億円が含まれる。

2. がん医療の充実

183億円(183億円)

- ・がん診療連携拠点病院機能強化事業 30.2億円
- ・小児がん拠点病院機能強化事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 3.2億円
- ・小児がん中央機関機能強化事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 0.6億円
- ・地域がん診療病院等機能強化事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 1.5億円
- ・希少がん中央機関機能強化事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 0.8億円
- 改・がんゲノム情報管理センター事業 23.3億円
- ・がんゲノム医療中核拠点病院等機能強化事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 10.2億円
- 改・がんのゲノム医療従事者研修事業 0.4億円
- 新・がんの全ゲノム解析に関する人材育成推進事業 0.4億円
- ・がん登録推進事業（国立がん研究センター委託費） 5.2億円
- ・都道府県健康対策推進事業（がん登録、がん医療提供体制の促進等） 6.3億円
- ・希少がん診断のための病理医育成事業 0.3億円
- ・小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業 0.3億円
- 改・革新的がん医療実用化研究事業等（※厚生科学課計上） 96.2億円

(参考)【令和2年度第三次補正予算案】

- ・全ゲノム解析等の研究開発の推進 25.0億円
- ・全国がん登録システムの更新等 7.6億円

3. がんとの共生

42億円(32億円)

- 新・小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業 11.3億円
- ・がん患者の就労に関する総合支援事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 2.5億円
- ・緩和ケア推進事業（がん診療連携拠点病院機能強化事業費） 2.3億円
- ・がん等における新たな緩和ケア研修等事業 0.7億円
- ・がん総合相談に携わる者に対する研修事業 0.3億円

(再掲)

- ・がん診療連携拠点病院機能強化事業費（全体） 51.1億円
- ・都道府県健康対策推進事業費（全体） 6.7億円
- ・国立がん研究センター委託費（全体） 6.4億円

※がん・疾病対策課計上の主な事業を記載。 ※複数の柱に重複する事業については、主な柱に一括して計上。
 ※計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

4 がん対策

補正33億円、当初365億円（359億円）

平成30年3月に閣議決定した第3期がん対策推進基本計画に基づき、「がん予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」の三つを柱とした施策を実施することで、がん対策の一層の推進を図る。

(1) がん予防

140億円（145億円）

がんを早期に発見し、がんによる死亡者を減少させるため、がん検診受診率や精密検査受診率の向上を図る。

(主な事業)

- ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 15億円
がん検診受診率向上に効果の大きい個別の受診勧奨・再勧奨（注）を、引き続き実施するとともに、子宮頸がん検診・乳がん検診の初年度の受診対象者（子宮頸がん検診：20歳の女性、乳がん検診：40歳の女性）にクーポン券及び検診手帳を配布する。
また、精密検査受診率向上のため、精密検査未受診者に対する受診再勧奨を実施する。
（補助先）市区町村
（補助率）1/2

(注) 個別受診勧奨・再勧奨の対象

子宮頸がん検診：20～69歳の女性、乳がん検診：40～69歳の女性、
胃がん検診：50～69歳の男女（胃部エックス線検査は40歳以上も可）、
肺がん検診：40～69歳の男女、大腸がん検診：40～69歳の男女

- ・がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業 72百万円
がん検診の更なる受診率の向上に向けて施策を重点化させる観点から、どのような手法で取り組むことがより受診率の向上に効果的であるかについて、令和2年度から大規模実証事業を実施しており、令和3年度においては市町村等への介入を実施するなど、引き続き検証・分析を進める。
（委託先）民間団体

(2) がん医療の充実【一部新規】

183億円（183億円）

がんゲノム医療を提供するため、がんゲノム情報管理センター及びがんゲノム医療中核拠点病院等の機能強化、がんの全ゲノム解析等を推進、がん医療の実用化に資する研究を推進する等、がん医療の充実を図る。

(主な事業)

- ・がんゲノム情報管理センター事業 23億円
「がんゲノム情報レポジトリーシステム」について、新たな遺伝子パネル検査の保険収載等に対応するための改修を行うなど、がんゲノム情報管理センターの機能強化を図る。
また、製薬企業や研究機関等による研究開発を目的とした二次利活用を進めるための

情報利活用審査会を設置・運営する。

(補助先) 国立研究開発法人国立がん研究センター

(補助率) 定額

- ⑨・がんの全ゲノム解析に関する人材育成推進事業 41百万円
全ゲノム解析等に必要な医学的知識を有し、大量のゲノムデータの解析等が可能な情報・統計の専門家であるバイオインフォマティシヤンの人材育成を目的とし、がんゲノム医療中核拠点病院等の医師等が全ゲノム解析等に必要なバイオインフォマティクスに関する基礎的な知識を習得できるよう、テキストの作成等を行う。
(委託先) 民間団体
- ・がんのゲノム医療従事者研修事業 35百万円
がんゲノム医療に携わる医療従事者が全ゲノム解析等に関する基礎的な知識を習得できるよう、テキストの作成等を行う。
(委託先) 公益社団法人日本臨床腫瘍学会
- ・革新的がん医療実用化研究事業等 (※厚生科学課計上) 96億円
第3期がん対策推進基本計画を踏まえ、ゲノム医療の実現に資する研究、ライフステージやがんの特性に着目した研究 (小児・AYA世代 (思春期世代と若年成人世代) のがん、高齢者のがん、難治性がん、希少がんなど)、がんの予防法や早期発見手法に関する研究などを重点的に推進する。
また、令和元年12月に策定された全ゲノム解析等実行計画に基づく全ゲノムシーケンス等を実施する。

(参考) 【令和2年度第三次補正予算案】

- ・全ゲノム解析等の研究開発の推進 25億円
令和元年12月に策定された全ゲノム解析等実行計画に基づく全ゲノムシーケンス等を実施する。
- ・全国がん登録システムの更新等 7.6億円
平成26年度の構築から6年以上が経過したことに伴うシステムの老朽化及び保守期限の超過等の問題が発生している全国がん登録システムについて安定運用を図るとともに、研究者等が多様な研究を推進できるようNDB等との連結解析に必要な機能改修等を行う。

(3) がんとの共生【一部新規】

42億円 (32億円)

がんになっても自分らしく生きることができる共生社会を実現するため、小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法のための支援、がん患者の治療と仕事の両立支援・相談体制の充実を図る。

(主な事業)

- ⑩・小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業 11億円

小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法に係る費用負担の軽減を図りつつ、患者から臨床情報等を収集し、妊よう性温存療法の研究を促進する。

(補助先) 都道府県、一般社団法人日本がん・生殖医療学会

(補助率) 1/2、定額

・がん患者の就労に関する総合支援事業

2.5億円

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターに就労に関する知識を有する専門家を配置し、がん患者の就労に関する相談に対して、適切な情報提供及び相談支援を行うとともに、両立支援コーディネーターの研修を受講した相談支援員を専任で配置し、各がん患者の治療、生活、勤務状況をまとめた「治療と仕事両立プラン」を活用した就労支援を行う。

(補助先) 都道府県、独立行政法人等

(補助率) 1/2、定額